

■ 静岡市都市計画マスタープラン改訂案に対するパブリックコメント結果

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
1	男性	40代	私は、長く三保に住んでいますが、総合計画にある「歴史文化のまち」が非常に三保に馴染んでいるなど感じておりました。ただ、今回のこの計画の中でA3の大きな図があるが、あまり「歴史文化のまち」を感じる事が出来ませんでした。三保は、世界文化遺産にもなっているので、文化遺産があつての観光であることを、もう少し、この図を見て感じられればと思つた次第です。	ご指摘を踏まえ、「集約連携型都市構造図」における「観光・レクリエーション拠点」を文化が感じられるよう「観光交流文化拠点」に修正しました。
2	男性	60代	人口減少はどこでも進むという。他の都市の人たちが静岡市に住みたくなるような方策も必要では？	人口の流入策については、都市計画においても重要な課題ですが、様々な部局による総合的な取り組みが必要となります。そのため、今後所管課を中心に、継続的に検討していきたいと考えています。
3	男性	50代	都市計画マスタープラン、読ませていただきました。集約連携という考え方が興味深いと思つました。人口が減っていく中で、何力所かにまちを集約させて便利にする…時間がかかっても実現されることを望みます。	都市構造の実現に努めていきたいと考えています。
4	女性	40代	表紙や各章にイラストが入っていて親しみやすい。また、各章の冒頭にキャラクターが会話している部分は、難しい内容をやさしく表現して良いと思つます。	今後の計画づくりにあつても、親しみやすさやわかりやすさに留意していきたいと考えています。
5	男性	40代	以前、ワークショップに参加しました。地域まちづくり構想は難しそうですが、地域のことをみんなで考える仕組みなので、是非参加したいと思つました。	今後の取り組みにあつてワークショップ等を開催する際にも、参加いただければ幸いです。
6	男性	30代	図、表、イラストを多く使つており大変見やすく良かったです。特に最後のイラストマップは、今後、どのような町になっていくかとてもわかりやすいと感じました。	今後の計画づくりにあつても、親しみやすさやわかりやすさに留意していきたいと考えています。
7	女性	60代	将来の姿がわかりました。高齢者が増えるので、市民にとって便利な町になることは良いと思つます。それと、表紙が未来に向かって広がっていくようなデザインで、さわやかな色なので良いと思つました。	高齢化社会に向けて利便性の高いまちづくりの実現に努めていきます。また、今後の計画づくりにあつても、デザインに工夫を行つていきたいと考えています。
8	女性	30代	市内の特性が表現されていて、興味深いと感じた。	今後の取り組みにあつても、地域の特性を的確に把握し推進していきたいと考えています。
9	女性	70代	絵がついていて、全体のイメージはわかりやすいし、重要性も理解できる。しかし、計画自体が固く、とつきにくい。女性が馴染めるよう登場人物に女性を追加してもよいのではないか。	冒頭頁(はじめに)のガイドをしてくれる登場人物を女性に変更し、ライフスタイルごとの居住イメージにも女性が楽しく暮らしているものとなるように修正しました。
10	男性	50代	清水は外部環境による影響が非常に大きく受けて都市が成り立ってきている。今回の都市計画マスタープランにおいて、企業立地検討の位置づけがあるため、是非検討を進めてもらいたい。	具体的な企業立地に関わる取り組みについては、今後所管課を中心に、継続的に検討していきます。
11	男性	60代	清水の沿岸部は、防災対策が喫緊の課題である。ハードは県で整備すると思うが、連携して対策をしてもらいたい。	沿岸部の防災対策の重要性は認識しているところであり、所管課を中心に、継続的に検討していきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
12	男性	50代	都市計画マスタープランにおいて、町に求められる機能として「病院」があげられている。今後、まちなかの便利な場所へ集める検討をしてみたいか。	病院を含めた医療施設の「まちなか」への立地の誘導は必要なことであると考えており、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。
13	男性	50代	民間企業が資本投資するとしたら、駅周辺である。都市計画マスタープランでも駅周辺に機能を集めることを示しているので安心した。	ご指摘の点も踏まえて、戦略的な取組みを記述しており、その推進に努めていきたいと考えています。
14	男性	60代	今回、かなりの数の意見をまとめているので、市民がみることのできるようにしてもらいたい。	ご意見は、「静岡市都市計画マスタープラン改訂事業 特設ホームページ」上で公表する予定です。
15	男性	60代	市外に住んでいるが、今回のマスタープランに興味をもって見させてもらった。拠点に集約するなど非常に先進的な取組みで、是非進めてもらいたい。市外の人や年寄りにも、もう少しわかり易くなる工夫があると、もっと良くなると思う。	鉄道駅がわかり易くなるよう、文章中のJR東海道線の各駅名にJRを追加し、専門用語を繰り返してないかなど、再度、文章の見直しをしました。
16	男性	50代	バス路線の維持のため、人口の集約を進めてもらいたい。	ご指摘のバス路線の維持も、「集約連携型都市構造」の形成を図る目的の一部であり、「将来都市構造」を記載しています。
17	男性	30代	移住対策と連携して、人口の維持を図ってもらいたい。	都心部への移住を促進することで郊外の人口を急減させることは考えていません。郊外部には「ゆとりある市街地ゾーン」を設定し、ゆるやかな集約化を長期的視点にたって推進していく考えを、「将来都市構造」において記載しています。
18	男性	30代	現在や将来の静岡市は様々な問題を抱えている。特に少子化、高齢化の問題は深刻であり、一番に考えるべき問題である。少子化の進行により税収の減少が予想されるがその中で高齢者にやさしい町づくりが必要になってくる。厳しい都市経営が今後でも予想されるが、アイデアや工夫をこらした都市経営や都市構造の再建築など策は考えることができる。特に自分は人口減少を妨げるべく、会社の福利厚生や住みやすい町づくりを徹底し、静岡市で働きたいと思うような都市をつくっていくべきだと考える。人口流出を防ぐ対策も重要ではあるが、他の都市からの移住、それがしやすい環境づくりも同じくらい大事になってくると思う。住民や区、市がこの問題を再認識し、手を取り合って協力することが重要である。	少子高齢化対策や人口吸引は極めて重要な課題であると認識しており、今後の計画推進にあたっても重視していく考えです。
19	男性	30代	まず、静岡の人口が減っていく見通しとなっていることに驚いた。私としては静岡市は適度な都市感があり、自然も豊かで非常に住みやすいと気に入っていたからである。駿河区の目標は非常に現実的であると思った。静大を中心とした大学がいくつかあり、若い力が駿川区にはあふれていると思う。この大学生を利用して地域を活性化させることはできるかもしれないと思った。	ご指摘の点も踏まえて、改訂案を作成しています。若い世代の人たちに従来にも増して地域づくりに参加いただけるよう、今後も機会の提供等に努めていきます。
20	男性	30代	葵区の都会と自然が共生したまちづくりというのはすでにできているのではないかと思った。都市計画課のみなさんとしては向上すべきところ、改善すべきところが多く目に付くかもしれないが、私としては静岡は非常に満足がいき、住み良い街である。	現在の良いところをさらに良いものに発展させていけるように取り組んでいきたいと考えています。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
21	男性	30代	静岡には富士山や駿府城といった観光名所や、お茶といった特産品が多くあるため、長野出身の自分の目から見ても魅力にあふれた県だと思う。その反面、親から地震に気をつけろという忠告をもらっているので災害対策にもう少し力をいれて欲しいと思う。建物の耐震性を見直していただだけでも、よりよい都市にするための第一歩だと思う。	ご指摘の点も踏まえて、「分野別の基本方針」等において、地域資源の活用や災害対策について記述しているところであり、今後も継続的に推進していきたいと考えています。
22	男性	30代	都市計画において、市民の意見を取り入れることはとても大切なことだと感じたため、これからは積極的にアンケートや討論に出席した際は意見をしたいと思った。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
23	男性	30代	都市計画について、都市計画といっても具体的なイメージはなかったけれど、人口について市街地の拡散低密度化など多岐にわたり、静岡市がよりよく生活しやすい”生活の拠点”となるようにどうすべきかを考える都市計画課の仕事について分かった。現況だけでなく将来の市民のことも考えて行う仕事はとてもやりがいのあることなのかなとも思いました。	今後も、都市計画行政へのご理解とご協力をいただければ幸いです。
24	女性	20代	市の人口が減ったり、少子化、高齢化が進んだりすることで、税収が減ってしまうだけでなく、スーパーなどの経営が苦しくなったり、公共施設や道路の維持が難しくなったりと、住みにくくなってしまふのだと分かりました。静岡市には3つの区がありますが、それぞれの区の特性を活かし、様々な種類の移住環境を整えることで、市民の多様なライフスタイルやニーズに合った暮らしをつくることのできるのだと思いました。そして私たちも自分たちの要望や意見を発信していかななくてはならないと思いました。	区別の特性を踏まえることを重視して本計画を策定しましたが、今後も地域の情報の提供等をいただければ幸いです。
25	女性	20代	静岡市はまちなかの地域もあれば、山や海など自然が多い地域もあり、それは強みにできる所だと思います。静岡の強みを生かして静岡市を発展させていければいいと思いました。	地域の特性や市の強みを活かした取り組みの重要性を認識し、本計画を策定しています。
26	女性	20代	高齢化、人口減少の問題、税収減少の問題を優先に都市計画を進めていくほうが良いと思いました。政令市の立場を保つため、これから新たな問題も出てくるのではないのでしょうか。理想の街づくりをイメージした計画はもう無理だと思う。現実の人々の生活を重視し、福祉中心にプランをして欲しい。人々で安心して生活ができてこそ、地域や社会に目が向くのではないのでしょうか。	少子高齢社会にあつての福祉のまちづくりの重要性は認識しているところであり、都市計画の分野においては、バリアフリー化等を推進していきます。狭義の福祉施策については、今後所管課を中心に、継続的に検討・推進していきます。
27	男性	30代	良い都市計画をするにあたっては、その地域の実情を知り、市民の理解を得られるものにする必要があり、そのために大変な時と労力が必要になるのだなと思った。これから先は少子高齢化が進み、高齢者が増え福祉の必要性が増大するにも関わらず、税収が減り都市計画に必要なお金が足りなくなってしまう。それを防ぐためにも、これからは多くの人を静岡に呼び込めるような街づくりが必要だと思う。	ご指摘の点も踏まえて、人を呼び込めるまちづくり、効率的なまちづくり等の視点を盛り込んでいます。今後の施策の展開にあたっては重視していきます。
28	男性	30代	人口問題は国全体の問題であるので短期間で解決するのは大変である。このように厳しい状況のなかにおいては無いものねだりをするのではなく、あるものの有効な活用はとても大きな要素であると思う。先に挙げたものを支えるものとして都市計画の占める割合は大きいと思うので、今後はより一層その重要性が大きくなっていくと思う。	ご指摘の点も踏まえて、既存の資源の活用を重視し改訂案を作成しました。
29	女性	20代	静岡市は拡散型都市構造であるため、様々な建築物、主要な施設も分散されてしまっている。市民の生活に必要な都市機能を静岡駅周辺に設置し、バスやJRや静鉄で拠点をつないでいく必要がある。たしかに現在静岡市で生活していて、主要な施設が分散してしまっているのに、バスの代金が高かったり、何度も乗り換えをしなければたどり着けなかったりと不便を感じることもある。市内にはいくつかの大学があるため、車を持たない大学生も沢山下宿している。そんな学生たちにとっても、公共交通機関を安価にし、充実してもらうことはとても意義のあることだろう。	ご指摘の点も踏まえて、「集約連携型都市構造」の実現を重視した改訂案を作成しました。
30	女性	20代	静岡市には自然も沢山あるため林業や漁業の保護、田畑の整備の支援といった範囲も忘れないようにしなければならない。静岡市は改善の余地がある分、今後更に良い街となるだろう。	ご指摘の点も踏まえて、「集落地・農林地・緑地の形成方針」を記述するなどとしています。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
31	男性	30代	都市計画マスタープランにおいては少子高齢化による人口減少が今後の都市経営において厳しさを増しているのをデータで感じとれました。特に人口減少による税収の減少は都市計画のみならず国家的な戦略として最優先に取り組んでいかなくてはならない課題であると感じています。また静岡市は地形的にも山が迫ってきているので地震、防災への対策や公共交通の整備なども民間一体となって対応していかなくてはならないと思います。	ご指摘の点も踏まえて、人口減少への歯止め、防災対策、公共交通網の整備に関する基本方針を含んだ計画としています。
32	男性	30代	静岡市が目指す「集約連携型都市構造」を学びましたが都市機能を集約して自動車に頼らない都市構造をしていくことができれば都市部に人口集中してコンパクトな都市作りができてくるのではないかと感じています。人々の考え方もグローバル化が進み、人によってニーズの多様化してきている時代となりました。昔の考えにとらわれず新しい人材の登用や若人の考えも取り入れていかれた方が良いと思います。静岡市が全国的に先例となる行動をする必要性を感じています。	ご指摘の点も踏まえて、「集約連携型の都市構造」の形成を重視した計画としています。
33	男性	30代	「20年先」についての計画を考えると人口減少の影響は大きいと思った。しかし集約化拠点をつくる集約連携型都市構造はすばらしいものであり、市民の声を大事にしているところが大きいと思った。	ご指摘の点も踏まえて、「集約連携型の都市構造」の形成を重視した計画としています。
34	女性	20代	私は神奈川出身なので、よく外から静岡県をみて、神奈川県と比べてしまうことがありますが、やはり静岡県は活気が少ないように思います。イベントを行っていても何か内面的に行われている気がしてしまいます。もっと外にアピールして、もっともっと活気のある県になったら良いと思います。でも、それが静岡県の良いところでもあることも確かです。昔からの伝統を引きついでいたり、内面的である分、中での継がりがとても強いです。そのような良い面をもっともっと魅力的に見せ、関東に近いぶん活性化された市街地に近づけていけば、関東に人口に流れてしまうのを防げるはずで。暮らしやすい環境、温かい人柄の人が多い静岡県。良いところをあげればきりがありません。まずは「観光」という分野から力を入れていくのも良いと思います。私は春に三重県に旅行へ行き、人と触れ合う中でたくさんの三重県の良い面をみることができました。観光といったら「伊豆」というイメージがどうしても付いてしまっていますが、静岡市方面、浜松方面でも足を運んでくれる人が増えると良いと思います。	魅力の発信や観光振興は重要な課題であると認識しており、まちづくりにあたって留意していきたいと考えています。狭義の観光施策については、今後も所管課を中心に検討・推進していきます。
35	女性	20代	現在市が抱える問題として、市街地の拡散・低密度化や、一斉に公共施設の更新時期をむかえているということを知り、とても難しい状況にあるなと感じました。この対策としての「集約連携型都市構造」は、開発を進めるだけでなく、一部はゆとりあるゾーンとして低密度化を図る地域があるということが印象的でした。私個人としてはあまり複雑な交通機関や利便性にはこだわらないので、むやみに都市化を進めるのではなく、ほどよく住みよいまちも維持されることを期待します。	ご指摘の点も踏まえて、多様なライフスタイルに応える「将来都市構造」のあり方を記載しているところです。
36	女性	20代	私は静岡の交通システムがもっと充実すればいいなと思う。バスの運賃は高いし、ルートに限られていたり、静岡を横断するにはルートがあるが縦断するのが公共交通機関では補えきれないと感じる。限られた資源の中で県や市が全て解決できるわけではないと思うが人の流れをうむことは様々な利益をつくりだすので交通面がもっと良くなれば良いと考える。市民、県民が生活しやすい都市を目指すことでその地域の住民に限らず観光客など外部の人もレポートするような地域をつくるのではないかと感じた。	「分野別の基本方針」の「都市交通」において、公共交通機関の維持・充実を図ることを記載しています。ルートや運賃等の具体的なあり方については、所管課を中心に、継続的に検討していきます。
37	女性	20代	人口流出、人口減少、高齢化といった問題は静岡市だけではなく、地方に共通してある問題だと思っています。首都圏の都市部ばかりに人やお金が集中してしまい、地方はどんどん衰退していってしまうこの問題は、なかなか解決することが難しい現状にあります。この問題を解決していくには、やはり人々の多様なニーズに対応した街づくりが必要になってくると思います。高齢者はもちろんのこと、若者や子供が生活しやすい場が必要なのではないでしょうか。例えば公共交通機関の整備や生活に必要なお店や施設の建設、幼稚園や保育園の新設などももしかしたら重要になってくるかもしれません。年齢ごとに自分が求める生活スタイルも変わってきますが、静岡市が多様なニーズに合った選択肢を人々に提供することができれば、静岡で暮らしていきたいと思う人もたくさんでてくると思います。	ご指摘の点も踏まえて、多様なライフスタイルに応える「将来都市構造」のあり方を記載しているところです。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
38	女性	20代	静岡市の都市計画や人口の推移について、抱える問題やその解決策を考えなければならぬと思いました。静岡市は人口の流出が非常に激しいという話は以前から知っていましたが、それがさらに進行すると税収が減少し、生活基盤を安定させることも難しくなってしまうことも分かりました。事態がさらに深刻化する前に魅力のある町づくりを早急に進め、若い人を市に呼び込む必要があります。そのためには若者のニーズを知る必要がありますが、高齢者の声も無視することはできないため、そのあたりのバランスのとりの方が今後の課題の一つだろうと思いました。そこで私が考えたのは「女性の住みやすい町」づくりを目指してみようかということです。女性が住みやすいということはそこで家族が形成され子供が育てられるということにつながると思っています。施設を新しくしたり観光事業に力を入れることももちろん重要ですが、子育てがしやすい、家族が生活しやすいよう具体的なサービス内容を充実させていくことも同じくらい重要です。またそうしたまちづくりの計画をしていることを多くの人に広め「住みたい」と思ってもらうことが大切です。今ある資源や土地を生かした都市計画を進め、市民や市の外の人々に広めていく活動に力を入れるべきだと思います。	多様なライフスタイルに応える「将来都市構造」のあり方を記載しているところですが、今後の具体的な取り組みにあたっては、子育ての支援をはじめとする女性の生活支援の視点も重視していきたいと考えています。狭義の男女共生社会に関わる施策については、所管課を中心に検討・推進していくこととなります。
39	女性	20代	これからの静岡市は人口減少、少子化が進み税収の減少によってインフラ整備や社会福祉事業などが厳しくなるなどの問題も多い。そのために、静岡が目指すのは集約連携型都市構造が高まるだろうと思った。ただ、住民の住みかえに対する抵抗などすぐに計画を達成するのは困難であり、現状から変化させずに維持する方法も考えなければならぬと思う。	ご指摘の点も踏まえて、「集約連携型都市構造」の形成を目標としています。なお、住み替えは強制するものではなく、あくまでも選択肢の一つであると考えています。
40	女性	20代	マスタープランの人口について、静岡は中途半端に田舎だからこそ若者が都会へと流出しやすいのかと感じました。コンパクトシティ化を目指すのは困難なことも多いし、デメリットも多いと思うのですが、この低密度化を見ると、最終的にはそれに近い形態をとらなくては生き残れないような気がしました。また、集約連携型都市構造を実現させたうえで、子育て支援や医療の充実、教育などに力を入れられれば老若男女問わず暮らしの場として静岡を選択しやすくなると思います。問題もたくさん抱えた市ですが、ポテンシャルはあるはずなので、行政・企業・民間が連携して自分たちの暮らしの基盤を構成していくことが必要になっているのだと改めて考える機会となりました。	ご指摘のように、「集約連携型都市構造」の形成を図ることと並行して、各所管課が連携し、子育て支援、医療の充実、教育の充実等の施策を検討・推進していきたいと考えています。
41	女性	20代	将来にわたって都市計画をしていかなければならぬのに、土木費より民生費が重む現状はどのように打破していくべきか難しい問題だと思った。何を優先させていくかよく考えていかなければならぬと感じた。人口が減少していけば都市も小さくなるものと感じていたし、そうなるべきだと思っていたが、それを指示していくのは行政ではなくてはならず長期に渡って実現していくのはいくつもの計画を積み重ねていく地道な作業だと思った。	ご意見は、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。
42	女性	20代	静岡市が目指す将来の都市構造では、過度に自動車に依存しないで公共交通でつながっている。都市部はモノも人も多く集まる場所であり、利便性という観点だけではなく人身事故を失くすという意味でも、これが実現するならとても嬉しいことだと考える。	ご指摘のように、「集約連携型都市構造」の形成は、交通事故の減少にもつながっていくと考えており、早期の実現に向けて努力していきたいと考えています。
43	男性	30代	私自身は清水に住んでいるが、駅への交通手段もなく、車がなければ生活できない状態であるので、交通の便が良くなればさらに住みやすい街になっていくのではないかと考えた。生まれ育った清水がもっと発展していけば良いと思った。	交通の利便性の維持・向上を重視した計画としています。
44	女性	20代	静岡は観光資源に恵まれており、気候的にも住みよい場所であるので、それらを活かしてもっと住みよい静岡になるといい。私は田舎で育ったので“まち”で住みたいとはあまり思わないが、若い人はまちに住みたがるんだな思った。	観光資源等の活用を盛り込んだ計画としています。
45	男性	30代	市がよりよい市作りをするための意見交換会などがあるのを初めて知った。また、そこで若者が「未回答」などの回答をしてしまうことも初めて知った。自分が行く機会があった時にははっきり回答したい。	各種の市民参加のための機会を設けて計画を作成しました。今後の取り組みにあたっては、ご意見をお寄せください。
46	男性	20代	都市計画マスタープランは、「都市計画に関する基本的な方針」に基づいて、概ね20年先を目標とした都市の将来像や土地利用の方向性、都市施設の配置方針等と明らかにした都市計画の基本的な方針を示すもの。都市計画は私たちが将来住むところの住みよいくらしのためにしているものであって我々住民も積極的に参加していかなければならぬと思った。	今後の計画の推進段階においても、参加をいただければ幸いです。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
47	男性	20代	マスタープランとは基本計画を意味する。「都市マス」「区域マス」はともに、都市の人口、産業の動向をふまえ、将来像を示し、個々の都市計画を位置づける役割を持つもので、建築行為等に直接的な規制を行うものではない。時々誤解されるが、「都市計画マスタープランを作っても、乱開発や高層マンション計画をとめられない」「絵にかいた餅ではないか」などといわれることがある。しかし、そもそも都市計画マスタープランは直接的規制を行うものではない。具体的な規制ルール作りが必要な場面では地区計画やまちづくり条例などの条例が必要であろう。	ご指摘の通りであり、「まちづくりの推進方策」において、本計画の策定後に、「地域まちづくり構想」の策定等を推進することを記載しています。
48	男性	20代	私は大学から静岡に来てとても良い所だなと思って好きになりました。むずかしい話はあまりわかりませんが、これからも静岡がより良い街になればいいと思いました。公共交通や施設の充実というのはとても重要だと思います。暮らしやすさというのは生活していくなかでの大きな要素だと思います。それに加えて市街地が栄えて、人々の興味をさらに引くものができれば、多くの人が静岡にずっと住みたいと思えると思います。	公共交通の維持・充実等を盛り込んだ計画としていますが、ご期待に答えられるように計画の実現に努めていきます。
49	男性	20代	私は出身が愛知県であるが、こっちに来てまず思ったのが、電車の数が少ないということだ。やはり、交通の利便性は求められる要素のひとつであろう。また、駿河湾に面しているということから東海大地震という不安要素が挙げられる。これらの対策がこれから先進んでいけば静岡はよりよい所となり魅力的になるであろう。自然が多くあったり、過ごしやすい気候等静岡には勿論良い所がたくさんある。まだ、就職をどちらにするか決めてはいないが、静岡に残るという選択肢も十分にあり得る。まだ、3年半しか静岡に住んではいないが、私はとても好きになった。これからますます静岡が良くなることを期待している。	公共交通機関の充実や防災対策について盛り込んだ計画としています。狭義の公共交通施策や防災施策については、所管課を中心に検討・推進していきます。
50	男性	20代	静岡市くらいの大きな規模の町なら静岡市が独自に静岡市の内部から町を活性化できると思います。	ご指摘の点も踏まえて、本市独自の計画を策定したところであり、今後の具体的な取り組みにあたっては、町の活性化に努めていきます。
51	女性	20代	私は静岡大学への入学のため静岡に引越してきたが、中心街はにぎやかで少し離れると過ごしやすい住宅地が広がっているような印象を受けた。今の人口を維持し、街の規模も発展・現状維持できればよいが、人口減少は多少あると思う。そうなったとしても今の静岡市の状態を保ってあげれば政令市としての魅力にかけりは見えないと思う。様々なニーズに答えられるほどよい規模の地方都市だと思うので都市計画をこのまま進めていただけたらと考える。そのためにも地域住民は自らの意見を持ち、行政側に伝えることが義務であると思った。	ご指摘の点を踏まえて、具体的な取り組みを進めていく考えです。
52	女性	20代	市の収入が減ってしまうとここで生活している私たちまでしんどくなってしまいます。暮らしの拠点は何も大都市だけでなく、ここ大谷のような小さな所、昔からある所が挙げられます。そんな所に必要なものはスーパーマーケットと病院だと思います。暮らしていく上で必要な食品やその他日用品が手に入ること、体を壊したときにそれをすぐみてもらえる病院があることが私の考える拠点像です。	商業施設や医療施設などを身近な「暮らしの拠点」に集約立地させる構想とすることを、「区別構想」に記載しています。
53	女性	20代	都市計画マスタープランの中ではライフスタイルにあった暮らしを提供するとあったように、そこに住む人がより満足した生活を送ることができるようにすることが市民のために働く公務員の役割であると思うし、住民のニーズにより耳を傾けていく必要が今後更に高まると感じた。	ご指摘の点も踏まえて、都市計画行政を進めていきたいと考えています。
54	女性	20代	静岡の良い所、悪い所をもっと考えなくてはならないと感じました。ここ数年で東静岡周辺が生活しやすくなっているのは都市計画で行われていることが分かりました。子どもがいる私には公園ができたことがとてもよかったです。子どもにも優しい所になったと思います。しかし、待機児童がいる事も確かで、少子化といわれているが保育園なども減っています。静岡が子どもからお年寄りまで生活しやすい都市になってほしいです。	本市のもつ資源と問題点を把握し本計画を作成しました。待機児童の解消に関わる施設については、所管課を中心に検討・実施していきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
55	女性	20代	私自身、市の行政の取り組みについて住民に対して行われる説明会などに参加したことが今までなく、今年初めて地元の市の総合戦略計画づくりに参加させていただいたが、若者が積極的に意見を述べたり、説明を聞いたりすることで、市の魅力づくりやまちづくりに新たな刺激が与えられるのではないと思う。高齢化や更新時期を迎えるにあたりかかるコストなど厳しい局面に際してコンパクトな都市構造はその打開策として魅力あるものを感じる。なぜなら中心市街地に静岡の魅力が集約することで静岡に行きたい、また行ってみたいと考える人の増加や、中心市街地に存在する老舗商店街の活性化につながることを期待できるからである。静岡市をよりよいまちにするための都市計画の重要性を感じた。	ご期待に応えられるように、具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。
56	男性	20代	静岡市は人口が今までは増えていきましたがこれからはどんどん減少していくことが予想されているらしくそれを阻止するために現在の状況としっかり見直して解決へと取り組む姿勢はとても素晴らしいと思いました。僕の地元は静岡ではありませんが人口の減少はどの地域でも問題であると思うので、特定の地域に関わらずしっかり解決策を見つけて欲しいです。	人口減少に歯止めをかけることは重要な課題であると認識して「将来都市構造」等を記載しており、その実現に努めていきます。
57	男性	20代	都市全体を改善していくために20年ほど先のことを見据えて取り組んでいくということは、現在の10代、20代の若い世代が主要な働き手になっているところにこの計画が概ね進んでいるということになる。彼らのような若い世代は静岡市の現状を積極的に知り、静岡市民として将来出来ることを考える必要がある。	今後も、市のまちづくりに対するご理解と、積極的な参加をお願い致します。
58	男性	20代	大学から、静岡に来た自分にとって静岡のイメージでは、交通の利便性も良く、特産物なども多く、海山もあり、自然豊かであるともいい街で栄えているという印象だったが、そんな静岡市でさえ20年後には人口減少が進み、少子化高齢化の社会になっていくという点において都市計画マスタープランというものは非常に重要になると実感した。自分の地元はというと人口は、静岡市の10分の1で高齢化が進む街であり、地元は20年後どうになってしまうのかという不安が高まった。将来、地元で公務員を目指しているの地元の良い所改善しなければならない点など、自分の言葉で話すことができなければいけないと実感した。将来国を背負っていく立場として静岡市のことを地元のことを考えるととてもいい機会になった。	今後も、市のまちづくりに対するご理解と、積極的な参加をお願い致します。
59	女性	20代	私は、将来住むなら利便性の高い方に住みたいと思います。私の故郷は割と田舎で、少子高齢化も進んでいて、歩いていける範囲にあるお店はコンビニのみという地域で、そういうところは将来的にどんどん人が少なくなって行って悲しいなどは思うのですが、進学や就職などで一度都会にでた人達がわざわざ戻ってくるメリットもあまりないので、しかたのないことなのかなと思いました。	ご指摘の点も踏まえて、利便性の高い都市をつくっていききたいと考えています。
60	女性	20代	都市計画において将来にむけた都市計画の方針を示すマスタープランが重要だと学んだ。先を見据えた都市開発が望ましいためこのようなプランが作られているが、静岡市は現在人口が増加せず、将来的にも人口が減少すると予想されているため、先を見据えることが困難だと思う。今まで静岡市は人口がずっと増加してきたため、そのような方向性が強かったと思うが、ここから大きく方向性を変えていかなければならぬため、難しくなると思う。しかしそれでも暮らしやすく試みがされていることが今回よくわかりました。積極的に自分の意見を言って協力したい。	今後も、市のまちづくりに対するご理解と、積極的な参加をお願い致します。
61	男性	20代	集約連携型都市という計画はとても素晴らしいものだと思う。暮らしを集中させることで道路等の整備も楽になると思うし、助け合いも充実すると考える。自然、資源も残しながらの都市計画で凄いと思った。	自然環境の保全等について重視した計画としています。「集約連携型の都市構造」の形成により、その実現を目指したいと考えます。
62	男性	20代	今後、少子高齢化の影響により静岡市での税収の低下やそれによる生活基盤の崩れなどが心配されるが、人口減少により薄く広がった都市が形成されてしまうことも問題である。高齢者が増加する今後の社会で、人口減少によりスーパーマーケットなどが地域から撤退してしまうということも増加するであろうし、そうなってしまうと、市内の方に行かなければ買物ができない状況や福祉設備が周りにないということになってしまう。交通の便が悪いとなおさら致命的だと感じる。その様な点で集約化拠点・ゾーンの形成とネットワーク化は非常に有効であると思う。集約された市街地は子どもたちの安全や高齢者に目が届くなど、人との面でもある程度、人がまとまっていることで、さらなるサービスの充実などが考えられる。さらに集約されたことで空いた地域の森林資源なども利用でき有効であると感じた。	ご指摘の点も踏まえて、「集約連携型都市構造」の形成について記載しているものです。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
63	男性	20代	静岡市街の特徴として主要な施設が密集しているという点がある。駅や学校、病院、商業施設などがコンパクトにまとまっておりコンパクトシティと言われている。これも静岡市の都市計画によるものであり、他の街と異なった特徴を持つことに成功している。少子高齢化に伴い、静岡市の人口も減少していくとされている。そのなかでも市は人口70万人の維持を目標としているが、そのために魅力的な都市であることは必要不可欠であろう。静岡市というよりは静岡県に関してであるが、東京と名古屋という大都市の真ん中に位置している。さらに、東京より近くには横浜という栄えた都市もある。そのため、静岡は他県に人が流出しやすいというデメリットを抱えているといえる。だが、大都市が近くにあるということは静岡に呼び込むための人はいるということである。静岡がそれらの都市よりも住みやすい街になれば、人口減に歯止めをかけることができるのではないだろうか。	人口の流出対策については、都市計画のみならず、各分野の施策を進めていく必要があるため、今後も各所管と連携して取り組んでいきます。
64	男性	20代	より優れた都市計画とは何であるか。それは単に利便性に富んだ場所であるとは限らない。なぜなら人が求める都市とは多種多様であるからだ。その地域に生活する住民のライフスタイルをしっかりと理解しなければならない。そのためにはその土地・地域の地形等を理解すること。またそこで育まれてきた文化的歴史や習慣等を吟味することが大切なのだと感じた。都市計画とはその地域の人々のことをしっかりと考えることでできているのだと深く納得した。	ご指摘の点も踏まえて、多様なライフスタイルに対応する都市構造のあり方を盛り込んだ計画としています。
65	男性	20代	私は兵庫県の姫路市出身なのですが、その地域が現在都市計画が進んでいて身近に感じる事ができて、とても興味深かった。私は開発できる側ではないので、できる限りのことは協力していこうと思った。	今後も、市のまちづくりに対するご理解と、積極的な参加をお願い致します。
66	男性	20代	今回の講義で都市計画プランについてよく理解できたと思います。その根底には都市の治安維持など私たちの為のものだと分かり安心できました。静岡市では平成17年に自治基本条例で「まちづくり」を豊かに、かつ快適に暮らせる生活環境及び安心して活動することのできる安全な地域社会を創るために行う全ての公共的な活動と広く定義し、また人と人との連携、情報の共有人づくりをその基本理念として進めるものとしていますが、この都市計画プランは自治基本条例にしっかり沿ったものであると感じました。	今後も条例の趣旨に沿った取り組みを進めていきたいと考えています。
67	男性	20代	静岡市の将来都市構造について、自治体が各地域の特色に合わせ都市計画を策定していることがわかった。	今後も地域の特性を踏まえて、具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。
68	男性	20代	静岡の現状として、人口の減少が予想されてたり、少子高齢化が進むことで税収が減少し、まちの維持が大変になってたり公共事業の更新時期を向かえるなど、重要な時期にあると感じた。このような問題に関して考える際に、静岡市の目指す集約連携型都市構造はとても魅力的なものであると思った。公共交通でつながる暮らしの拠点や区ごとの特性をいかしたまちづくりなど実現されれば本当に素晴らしいまちになると思う。	望ましい都市構造の実現に向けて、具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。
69	男性	20代	若者が別の都市に魅力を感じ静岡市で就職せず別の場所で就職し定住してしまう。その原因等を解明し若者が静岡市に住んでくれるように計画を立てないといけない。もしくは、他所の都市の人にこちらに来てもらえるように静岡市をアピールしていくことも大事なように感じた。	若者の流出対策についても、重要な課題であると認識しており、その観点からも、本計画の将来都市構造や基本方針内容に示した内容の実現に努めたいと考えます。本市のアピールについても、各所管課と連携して行っていきます。
70	男性	20代	都市計画の最初の印象は今よりもっと発展した地域をつくることだと思っていたが、時代の変化とともにその時に応じた都市の維持や整備を行い市民のニーズに合わせた都市づくりなのだと感じが変った。	今後の取り組みにおいても、市民のニーズの把握と反映に努めていきます。
71	男性	20代	私の実家である富山県でも少子化や高齢化の話をよく聞く。私の実家の富山県も、北陸新幹線が開通し、富山に来る人も富山からどこかへ行く人も増えるというように聞いた。その中で、市役所や県の方々の方々の考えていることは非常に熱のあるようなことばかりで関心する。たくさんの方のことを考えておられるなかで、私たちも何か発信していくことも重要であると感じた。	今後の取り組みにおいても、ご意見をいただければと考えます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
72	男性	20代	少子高齢社会で人口が減少していくなかで、都市計画を見直して対策をとる必要があるが、世代によって望むものは異なり、各世代のニーズに答え続けなければその都市に未来がなくなってしまうと感じた。しかし市民側からの反応はあまりなく、サイレントの意見をうまく読み取っていかねばならず、声の大きな反対意見に振り回されてしまうこともあるのだと思った。自分の将来に大きく関わる都市計画は自分の問題として意見の発信をしなければならないと感じた。	多様なライフスタイルに対応した都市構造の構築について記載しているところですが、今後の具体的な取り組みにあたっては、様々な世代のニーズに応える視点を重視していきたいと考えています。
73	男性	20代	これから静岡が抱える問題(人口減少、高齢化の進行、市街地の拡散、低密度化)を解決するために、静岡市が市民の声を聞きながら様々な解決策を立てていることが分かった。私も静岡市民として積極的に意見を出していきたい。	今後の具体的な取り組みにあたっては、市民の皆さんの声を聞き、反映に努めていきたいと考えています。引き続き、ご意見等をいただければ幸いです。
74	男性	20代	静岡市は人口減少や高齢化を見据えた現実的な計画をしていることが分かった。人口減少による税収減少に低密度の住居が重なり、自治体の運営が困難になっていく中で都市集約が求められている。コンパクトシティ化はなされなければならない課題であり自治体は現実的に達成可能である計画を立てることが求められていると思う。	理想像を達成するまでには長期間を要すると考えられますが、着実に取り組んでいきたいと考えています。
75	男性	20代	静岡市は市街地の外に日本平や三保をはじめとする観光資源があり、公共交通での利便性が悪い点は大きな問題であると思う。せつかくの集客施設を活かし、地域を活性化するためにも行政が主体的に関わった改善策が求められると思った。	「分野別の基本方針」等において、公共交通の利便性の維持向上を記載しています。特に観光資源を活かす観点から、積極的に取り組みたいと考えています。
76	男性	20代	人口だけでなくライフスタイルに応じた暮らしのイメージなど、都市の連携や区ごとの方向性等、その場所場所に応じた目標観を持っていて非常に感心した。出身は愛知なのだが静岡市はとても暮らしやすく、大好きである。住みやすいまちの影に公務員の方の努力が大きく影響しているのだと思い改めて公務員という仕事のすばらしさを感じた。	地域特性を踏まえた計画策定に留意したところですが、今後の施策展開にあたっては重視していきたいと考えています。
77	男性	20代	都市計画を決定するにあたり、様々な分野で検討をしていく必要性を学んだ。また、宅地の整備と一体となってショッピングセンター、コンビニ、交通機関等の地域に密着したものの、整備が必要であるのだが、今後、少子化と高齢化が進むにあたり、税収等様々な損失が発生することが予想され、これらの整備が難しくなっていくこととなる。個人的な意見になってしまうが、以前静岡市の管轄であるスキー場でアルバイトをしたことがあった。その際に交通機関が車しかなく非常に不便に感じたことがあり、せつかくの環境資源を無駄にしていると感じた。	「分野別の基本方針」等において、公共交通の維持向上に言及しています。具体的な交通対策については、所管を中心に検討・実施していきます。
78	男性	20代	人口が減少することによって、税収が下がり結果として福祉の質が下がるのは負の連鎖だと思った。打開策として、子育て支援の内容を充実させるのがいいと思った。国策をあてにせず、市が主体となって動くことで他の自治体とも差をつけられる。すると他所からの移住も期待できるのではないだろうか。良きルールを策定することで、活性化につながる。法の力は大きいと再確認できた。アンケート等には積極的に参加したいと思った。	子育て支援の観点からも、「暮らしの拠点」の形成を図っていく考えです。狭義の子育て対策関連の施策については、所管課を中心に検討・実施していきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
79	男性	20代	この計画を考えるにあたって、日本全体でも問題となっている少子高齢化問題が話題に挙がり、今後の静岡が心配になった。「集約連携型構造」という考え方は若い人には受け入れやすいが、定住場所のある高齢者には受け入れにくかったりと、現実に行えるのかは疑問である。ただ、とてもよい構想であると感じ、少しずつでも地域における改革は進めていくべきだと思う。	「集約連携型都市構造」の実現に向けた取り組みにあたっては、高齢者の方たちの生活の安定にも十分留意して進めていきたいと考えています。
80	女性	20代	地域企業の方たちの話を聞く機会があったのですが、皆さん静岡の人口流出について嘆いていらっしゃいました。静岡は魅力的で就職したいと思うのですが、出身が東北の田舎であるので、そちらの過疎化も気になっていて、どちらに住めばいいのかなかなか決められません。東北は仙台や東京に人口が流れていくし、静岡だと名古屋や東京など周りに大都市があります。人口を維持するのは難しいですね。	人口流出を招かないように、まちの魅力の向上や活性化につながる施策を盛り込んでいっているところですが、今後の取り組みにあたっても重視していきたいと考えています。
81	女性	20代	私は大学進学を機会に静岡へ引っ越してきた。静岡は観光地や特産物などたくさん魅力あるものは存在しても、県外の人達にはあまり知られていなかったり、私自身知らなかったものもあった。都市計画において現在住んでいる人を惹きつけるだけでなく外部の人に観光だけでなく住んでもよいところだと思わせられるよう更に計画を練ってほしい。	ご指摘の点も踏まえて、「将来都市構造」において、利便性が高く人口密度を一定規模維持していくエリアや、市の観光・交流・文化活動を牽引する場、ライフスタイルに応じた暮らし方について記載しています。今後の施策の展開にあたって、市内外の人を惹きつけ、定住していただけるような取り組みを重視していきます。
82	男性	20代	市のいいところ、悪いところをしっかりと把握した上で事業を進めていることがわかった。今までは将来的に人口減少が顕著に進行し中心市街地においてとくに顕著に人口が減っていきってしまうことや、高齢化、少子化が進行していくという課題がある中で、市民のニーズに対応した都市構造をつくっていく計画をしていることがわかった。市民の生活に直結する都市計画は暮らしやすいまちをつくるために非常に重要なものだと思う。	今後も、都市計画行政へのご理解とご協力をいただければ幸いです。
83	女性	20代	都市計画マスタープランというものは今回初めて聞いたが、20年先は自分が40歳になる年で、静岡に住んでいる可能性もあるし、年齢的にも色々なものを背負っていく大事な時期でもあると思うので、20年先のことを考えて計画を立てていくことはとても重要だと思う。静岡の魅力や弱みを考えたときに、とても快適に暮らせる街で素晴らしいところもたくさんあるが、やはり交通の便が悪いところなどが弱みだと感じた。私は静岡大学に入学したときに北海道から静岡へ引っ越してきたが、かなり住みやすい場所だと感じたので、公共交通がもっと便利になったり、弱みの部分を改善することができれば人口流出も減ったりするのではないかと思った。自分の地元の都市計画についても今後機会があれば調べてみようと思った。	ご指摘の点も踏まえて、「現状と課題」に、静岡市の強みとして比較的コンパクトな市街地や、交通面での課題として地域の実情に応じた交通体系の構築を記載しています。今後も、本市の都市計画に対するご理解とご協力をいただければ幸いです。
84	男性	20代	私は大学を出たら地元(静岡県外)に住みたいと思っているのですが、静岡市の政策も参考に地元の町について考えたいと思いました。資源の活用や意見交換会など重要だと思いました。	ご指摘の点も踏まえて、「将来都市構造」に、広域基盤、歴史・自然資源の戦略的活用を記載しています。今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
85	女性	20代	これから人口は減少をしていくという予想がされていて、一定の人数がいなくてスーパーとかは建てられないということで、このまま過疎が続くと大変だなと思いました。今、下宿をしています、自動車が使えなくて不便だなと思うことがよくあります。学生のためにも環境のためにも公共機関がもっと充実して欲しいです。市民のニーズのところで地震・災害の防災対策や水害の対策などが高いところには共感しました。静岡ではいつ大きな地震が起こるかわからないと言われていて、日本は地震大国です。私はまず何よりも先にこれらのことを優先してほしいなと思いました。ライフスタイルに応じた暮らしのイメージのところで、将来的に住みたい家ということで、3分の2が集まって住むことを希望しているという事実には驚きました。私は郊外でゆっくり過ごす人が多いと思っていました。	ご指摘の点も踏まえて、「分野別の基本方針」における「都市交通」にバス交通の充実と利用環境の向上、「都市防災」に防災・減災のための施設整備・改善の推進を記載しています。
86	女性	20代	人口が減少して人口が薄く広がった都市になると様々な問題が生じてくる。田舎の方でさらに人口が減ってしまうと道路や施設の更新も大変だ。それに加えて福祉や介護の面でも、サービスが行き届きにくくなってしまふ。パラパラの地域に住んでいては効率が悪いです。コンパクトシティを考えた方がよいのかなと感じた。集約連携型都市構造ではたしかに便利だし高齢者には公共交通機関が身近にある方が安心して暮らせるだろうと思った。個人的には将来子育てをするようになったら、少々不便でもゆったりとした場所に住みたい。自然があって子どもが安全に遊べるようなところで子育てしたい。病院、学校があれば暮らしていくには充分だと思う。みんなでまちをよくしていくという姿勢が大事だと思う。	ご指摘の点も踏まえて、「将来都市構造」に多様なライフスタイルに対応できる都市の将来像を実現するための方向性を記載しています。
87	女性	20代	静岡市市街地は家賃が高くて新しく店を開きたくても開けない、長続きしないという話をよく効きます。家賃が高いのもその土地の地価が高いからではなく、大家さんが下げたがらないそうです。私は県外から来たのですが、市街地は活気づいているように見えて、シャッターや空物件が目につきます。公務員は商売にあまり介入しない方がいいとは思いますが、市として、まちを活性化させるため、新しく商売を始める人に向けて補助をすべきだと思います。また、ある程度の規模の都市では、市がバス・地下鉄を運営しており、低運賃で移動ができるようになっています。利便性の高いところには人は集まるので静岡市も公共交通機関としてバスを整備したり、タクシー会社と連携するなど、人の移動を高めるべきだと提案します。今後高齢化が進み、高齢者が暮らしやすいまちづくりを大きな目標とされているのですが、私たち若者にとっても住みたいと思えるような都市づくりにしてほしいです。	ご指摘の点も踏まえて、「将来都市構造」において、都市拠点における都市機能と人口の集積や、公共交通軸における利便性の維持・向上、多様なライフスタイルに応じた暮らし方を可能とする都市のあり方等について記載しています。
88	女性	20代	人口減少、少子高齢化の社会において、コンパクトシティ化を目指すことの重要性は理解できた。しかし、静岡市は政令指定都市の中でも圧倒的に面積が大きい、公共交通が不便であるため、都市機能を集約させることは市街地への人口集中が起きてしまうのではないかと感じた。進学や就職で静岡を離れた人のUターンを促進するためにも、便利で魅力的な静岡を形成していく必要性も感じた。東京一極集中を防ぐために、静岡が人口のダム機能の役割を果たすためにも必要だと感じた。市街地だけでなく、広大な土地を静岡の魅力的な歴史・自然資源のために活用していくことも都市計画において重要なのだと学んだ。まちづくりは行政だけでなく、住民である自分たちがそのまちのことをよく知り、より住みやすく魅力的な都市を形成していくことが重要だと感じた。	ご指摘の点も踏まえて、「将来都市構造」に公共交通軸における利便性の維持・向上や、利便性が高く人口密度を一定規模維持していくエリア、市の観光・交流・文化活動を牽引する場を記載しています。
89	女性	20代	呉服町にあるお店でバイトをしているのですが、やはり客足は昔より大分減っているようで、市街地自体、更新していく必要があると思いました。	市街地の更新は必要なことであると考えており、本計画においてもその方向性を示しています。今後の計画推進にあたって参考させていただきたくします。
90	女性	20代	都市計画をする際、最新型のかなにかをおいて、にぎやかにするだけではなく、都市のなかのそれぞれの地域に着目して、その土地を活かすことにも重点をおいていることがわかりました。また、民間、市民へのアンケートや意見交換会も行われていると知りました。1人の意見が通るとはかぎらないですが、同じような意見が多くあれば変化はおきくと思うので、そのような場は大切だと思いました。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
91	女性	20代	私は呉服町通りの飲食店でバイトしています。話を聞いて、確かに呉服町通りは思った以上に活気がないと思います。バイト先は昔はお客さんがたくさん入っていたみたいですが、最近では減ってしまい、外を見ると会社帰りのサラリーマンくらいしか歩いていません。駅から歩いて来ることができ、近いという点ではいいと思いますが、それだけでは呉服町には人は集まらないと思いました。静岡に住むかと言われるたら住まないと思いますが、学生にとっては割りと住みやすいかと思えます。郵便局も銀行もコンビニも近く、自転車で行ける距離に日常生活の機能がほとんど揃っていると思います。でも、もう少し静岡の魅力が伝わる施設やイベントがほしいなと思いました。	にぎわいの創出や魅力の発信は、重要な課題であると認識しており、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
92	男性	20代	急速に進む高齢化に対応するには、生産人口を増やし、ここに根付く人々が増えるような魅力を作るしかないと感じる。それには今いる市民の意識改革が必要なのだと思う。しかし現実には自分の生活で手一杯である人が大半だろうから難しい問題だ。	まちづくりに関して市民と行政が意識の共有を図ることは重要なことであると考えています。今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。
93	男性	20代	静岡市におけるマスタープランは将来、少子高齢化により拡散低密度化する静岡市に生ずる税収の減少、生活の困難さを改善するために作られた。建築物の更新、住み替えなどを伴うが若い人々を目的にして受け入れられると考える。	今後も、都市計画行政へのご理解とご協力をいただければ幸いです。
94	男性	20代	集約連携型都市構造をうまく使えば、様々な年代の人々のニーズに対応した都市をつくることができると思った。利便性を追求しすぎるのもよくないし、自然ばかりでもよくない。集約連携型都市構造で様々な人のライフスタイルに合ったまちになればいいと思う。	様々なライフスタイルに応える都市構造のあり方を記載しているところですが、ご指摘も踏まえて、その実現に努めていきたいと考えています。
95	男性	20代	人口流出・高齢化といった様々な問題が存在すると思うが、是非頑張っ解決してほしいと思った。集約連携型都市構造にはなるほどと感じたが、駿河区・葵区・清水区の各地区ごとによるすみわけについては、まだまだ検討の余地があると思う。例えば清水区にスポーツ資源の活用とあるが、人口が流出していくことがわかっているようなところにはプロスポーツは根付きにくいと思う。清水エスパルスの例をみるまでもなし、プロスポーツの強化には、親会社のサポートでどうにかする時代は終わっている。市が本気でスポーツ資源の活用を図るには、もっと大々的にスポーツ支援の姿勢を示す必要があるだろう。	スポーツ振興に関わる具体的な取り組みについては、所管課を中心に、検討・推進していきます。
96	男性	20代	人口や人口の拡散など様々なことを考慮していかないといけないとわかり非常に難しいものだった。特に人口減少は大きな問題だと思う。そしてそれは私たちに無関係どころか私たちが当事者となるのだから私たちは少しでも意見を出してそれを食い止める、また影響を小さくするため積極的に意見を出していきたい。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
97	女性	20代	静岡市のような何でも近くにそろっている地域と自然豊かな地域が共存していて、市の隅々までバスが通っているという充実したまちはあまりないので、住民の方も、とくにこれからを担う若い世代がどんどん意見を出して、より住みやすいまちをつくることは確実に人口減少に歯止めをかけることにつながると思いました。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
98	男性	20代	静岡市は観光はもちろん、気候においても大変に恵まれた地域である。都市計画は長期のものとなり、次の世代へのメッセージとなる所以も強い、多数の意見をふまえて実行していくわけであるが、その手腕は職員の方々にかかっている。そんな仕事に従事している方々に尊敬とあこがれの気持ちを感じた。静岡市の最大のウィークポイントは地震が発生すると予想されることであろう。2011年の災害によりそのイメージは強いものとなってしまった。どんなに未来に向かって考えようとしても気分が落ち込んでしまう。これからの都市計画はもちろんそのことも考えるであろうが、もっと愛のある楽しいものとなってほしいように思う。防災意識は大切であるが、最近はどうも楽しいことに水をさすように思えてならない。	「分野別の基本方針」の「都市防災」において、「防災・減災のための施設整備・改善の推進」、「避難・救援活動がしやすいまちづくりの実現」などについて記載しています。
99	男性	20代	しっかり市民の意見も積極的に取り入れようとしており、それに対して私たち市民があまり意見を出そうとしないというのはいかがなものかと感じたので、これからは機会があるごとに意見を出していきたいと思った。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
100	男性	20代	1年前ぐらい静岡へ来て、今までずっと思ったのは交通は不便です。バスや静鉄などあるんですが、行けないところが多くて、自転車が多いです。資料を見て静岡市の人口が今後は減っていく予想になっているんだそれも都市計画の中で考えてどうやって人口を分布をうまくやって中心市街地において顕著に現れる状況を減少できるのか、それもふくめて将来都市を構造して行くのがわかりました。静岡市が目指すのは集約化拠点ゾーンの形成とネットワーク化と自然資源の戦略的活用も重要だと思います。印象の中の静岡は観光が多いと思ったのですが、本当に来てから思ったよりすなかったです。	観光振興の視点も本計画に盛り込んでいるところですが、具体的な取り組みについては、所管課を中心に検討・推進していきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
101	女性	20代	あまりに都市化(建物化)され、緑がほとんどないことだ。たしかにコンパクトシティを目指し、住みよい街なのかもしれないが、自然と融合した街こそが幸福度が上がるのではないかと思った。今後の都市計画を期待したい。	自然環境の保全・活用について盛り込んでいるところですが、今後の具体的な取り組みにあたっては、所管課と連携しつつ検討推進していきます。
102	男性	20代	マスタープランにおいては高齢化が深く関係していることがわかった。この対策をしながら計画を進めて行くことが重点を置くべきことの1つだと思った。集約連携型都市構造について、市民の声を実際に聞いて計画を考えることは大切だと思った。実際に市民に問うて、それに対する回答を計画に反映することで計画がスムーズに進み、都市計画自体が達成すべき目標である、誰でも安心・安全で快適に生活できる都市の実現の可能性が見えてくるからである。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
103	男性	20代	都市計画マスタープランは「都市計画に関する基本的な方針」に基づいて、概ね20年先を目標とした都市計画の基本的な方針を示すものであるらしいのだが、具体的にどのような内容なのか、なぜ20年先なのか色々興味があった。現在の予想によると静岡市は将来人口が減少するらしく、高齢化、少子化が進んでいると言わざるを得ない。また、市街地の拡散や低密度によって、公共施設の維持の困難などの新たな問題も浮き彫りになってきている。都市経営もぐっと厳しさを増しているようで、これからの静岡市の動向には今後も要注目である。また、都市計画マスタープランを活用し、これらの問題を解決することを一市民として望んでいる。	本計画に示した内容の実現に努めていきます。今後も、都市計画行政へのご理解とご協力をいただければ幸いです。
104	男性	20代	静岡市の人口減少問題は大阪府に住んでいた自分も知っており、興味ある内容であった。東静岡駅周辺の高層マンションの建築や、首都圏への通勤が可能である静岡県であるが、市内の交通の便の悪さからあまり魅力ではないかと思う。今後、バス会社とも密接に連携をとり、静岡から通勤しやすくする事も人口増の一つの手段ではないかと感じた。	バスを含む公共交通の維持向上について盛り込んでいるところですが、バス交通に関わる具体的な取り組みについては、今後所管課を中心に検討・推進していきます。
105	男性	20代	現在までおよそ1年半住んでいます。静岡が非常に良い気候であることや、観光資源が豊富で、駅前はずっときれいに整備されていることなど、他の地域から引っ越してきたからこそわかる魅力があります。他方で、人口の減少に苦しめられていることなど、困難を迎えつつあることもわかってきました。今回、示されたマスタープランでは自分の生活に必要なものが徒歩圏内に全てあるという便利なまちづくりを将来像を描いていることがわかりました。今、この計画の是非を論じる全欲はありませんが、静岡には長泉町など、人口増加に成功しているところもあります。他の地方自治体と互いにプランを磨きあえるとよりいいと思います。	ご意見も踏まえて、望ましい都市構造の実現により、将来人口の維持に努めていきたいと考えています。
106	女性	20代	人口減少や高齢化少子化は本当に深刻だと思います。これから協力できることがあれば協力したいと思います。	今後も、都市計画行政へのご理解とご協力をいただければ幸いです。
107	男性	20代	現在、私は静岡に住んでいて静岡の魅力や弱みを考えた時にもっと住みやすいまちづくりにならないかと考えました。私は名古屋から静岡に来て人のあたたかみや静岡の食をより良いと感じました。私はそれを感じてもっと静岡のよさを伝えられると思います。静岡らしさ、静岡の魅力アンケートや意識交換でしっかり共有していければ良い地域になると思います。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
108	女性	20代	私はやっぱり地震や災害対策が一番考えてほしいです。静岡市のみならず静岡県もそうですが、人口の流出が進んでいます。おそらく「就職がない」などの理由もあると思いますが、「地震が怖い」という人もたくさんいると思います。特に若者・大学生など選択肢をたくさんもっている人たちは静岡市はもっと安全な街、災害にどこよりも強い地域をアピールするべきです。そのアピールする先は県内の大学生・高校生などこれから自分の住む所を決める人や企業にするといいと思います。学生と市がタイアップして活動するのも面白いと思います。もっと静岡市に人が集まるように、とどまってくれるように現実味のある都市計画があればいいなと思います。	防災のまちづくりについて記載しているところですが、多角的な観点から静岡市に人口定着を図るための具体的なご提案については、今後の計画推進にあたって参考にさせていただきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
109	女性	20代	マスタープランは人口の推移、分布ひいては住人のライフスタイルまで考慮したうえで、生活の質の向上を目指して都市計画方針を決めていく。静岡市の人口は減ることが予想され、高齢化少子化、市街地の拡散などの問題もある。交通機関が少ないために車を持つ住人が多いことから交通機関をよく使うのも高齢者ということになるだろう。そのため、バスならばノンステップバスの採用、電車ならば座席の確保を検討する必要がある。交通機関の充実とは自動車販売店の売り上げ減にもつながる。弊害をどのようにフォローするか、もしくは弊害よりも交通機関の充実がもたらす利益が大きいこと(もっと言えば利益が大きくなるように計画実行すること)を確認考慮する必要があるだろう。	交通機関の充実とは重要な課題であると認識しており、まちづくりにあたっては留意していきたいと考えています。狭義の交通施策については、今後所管課を中心に検討・推進していきます。
110	女性	20代	静岡市の人口が減っていき、だが高齢層の割合が高まってしまおうという予測は耳にしたことがあった。都市計画とは明るく前向きなイメージでどんどん増設していくものだと思っていたが、静岡市は高齢化社会に対応して都市の構造を変えていこうと考えていることがわかった。増えていくお年寄りの人々に配慮するだけでなく、減っていく若い世代の人々を引き止めたり、呼び寄せるような魅力ある環境を整備していく必要があると感じた。	若者の流出対策については、都市計画においても重要な課題ですが、様々な部局による総合的な取り組みが必要となります。今後所管課を中心に、継続的に検討していきたいと考えてます。
111	女性	20代	都市計画法とはまちづくりのルールを定めることにより暮らしやすい秩序ある都市をつくることを目指し、そこに住む住民が安心して暮らすことができるように導くものである。だからこそ役所のひとたちだけで考えるのではなくそこに住む者たちも、もっと意見を述べ、よりよい都市計画をつくりあげていく必要があるのではないかと私は考える。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
112	男性	20代	静岡市は様々な観光資源はあるが、全てが地味な気がする。もっとPR等をしていかないといけないと感じた。静岡市では人口減少が見込まれておりその弊害として税収の低下やまちの維持に大きな影響が与えられてしまう。それに加えて公共の施設の建替え時期が到来してくるので、多くのことを考えつつ都市計画を行わなければならないと考えた。	魅力の発信や観光振興、人口減少への対応、公共施設の維持管理など、様々な課題を踏まえた取り組みは重要な課題であると認識しており、今後の具体的な取り組みにあたっては留意していきたいと考えています。
113	女性	20代	自分は静岡市の出身ではありませんが、静岡市内に下宿をしているので静岡市の都市計画や今後に関しては興味があったので学ぶことができありがたかったです。自分の出身地の都市計画とも比較してみたいです。市民の意見をとりいれながら、よりよい都市を目指すのはなかなか難しいことですがとてもやりがいがあるように思います。これからはアンケート調査などに積極的に参加してよりよい都市づくりに協力していきたいです。	今後の取り組みにあたってアンケートやワークショップ等を開催する際にも、ご協力いただければ幸いです。
114	男性	20代	地方都市では政令指定都市である静岡市であっても、人口の減少やそれともなう高齢者割合の増加、年少者割合の低下が予想されることに驚いた。特に静岡市は面積が広く、市街地が拡散したり、低密度になることがわかった。これに対して都市機能を集約することで公共サービスの充実や利便性の向上、支出削減ということがあった。しかしこの方向性は現時点ですでに高度に集約が進んでいる東京、大阪などの大都市に勝つことができるか疑問だった。地方の人口減少はむしろそういった大都市への一極集中によるものが大きいのではないかと。よってそうした大都市との差別化を図ることが、集約型の都市を計画する上で重要だと思った。特に移動がしやすい若者が他の大都市へ流出しないように、大学の整備や中心市街地における若者向け商業施設をふやすこと、労働しやすい環境づくり、就職支援などを行うべきであると考えた。	大都市と差別化を図る観点から、本市ならではの資源の活用等について記載しているところです。若者の流出対策に関わる具体的な取り組みについては、今後所管課を中心に検討・推進していきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
115	男性	20代	人口減少によって都市が薄く広がり、空き家やシャッターの閉まった商店、空ビルが増加している現状は公共サービスの非効率化を招く恐れがあるということで大きな問題だと思われる。しかし、そういった問題点から目をちらさず、積極的に解決しようという姿勢には感服せざるを得ない。	「現状と課題」に人口密度の維持・向上や都市経営の効率化などの課題を記載するなどしているところですが、今後の具体的な取り組みにあたって、積極的に検討・推進していきたいと考えています。
116	男性	20代	特に興味を持ったのは静岡市の目指す将来都市構造であり、「利便性の高いゾーン」と「ゆとりのある市街地ゾーン」に分類し、各ゾーン毎にそれぞれ効率的な施策を行うつつ、両者を公共交通軸で結ぶという考え方は今自分が行政分野で調べ学んでいるコンパクトシティに通じるものがあり、非常に勉強となった。都市開発は非常に難しく大変な業務ではあるが、地球の将来のあり方を考えられる実りある事業であると感じた。	ご意見も踏まえて、望ましい都市構造の実現に努めていきたいと考えています。
117	女性	20代	静岡市都市計画マスタープランについては、区別構想という考え方が非常に興味深かった。「暮らしの拠点」を何に定め、どこに置くか、どうそれらを結んでいくかということが重要な意味を持つのだと感じた。また、都市計画は「20年後」を見据えている計画であるという観点からも、これから先の将来、公務員として実際に計画を推し進めたり、市民として静岡市で生活していく私たちが、このタイミングでこのようなお話を伺うことができたことは大変大きな意味をもつと感じた。	ご意見も踏まえて、「暮らしの拠点」の形成など、区別構想を含めた計画の実現に努めていきたいと考えています。
118	女性	20代	静岡に特化して言えば、地震・火災に対する防災対策や公共交通の利用のしやすさ等が重要度、優先順位が高い。このように、地域によって計画も全然違うとなると、県庁や市役所等の役割は大変大きいのだろうと思うし、まちのプロなのだなと思う。例えば東京では、主な移動手段として電車があるが静岡では車の使用度が高いため、道路が広いしきれいで、よく整備されている。東京に住んでいた頃と比べてよく感じていたことではあるが、このように地域毎に計画が異なって独特のまちづくりがなされている。そう考えると、自分が将来すみたい場所を「都市計画」基準に考えてみるのも面白いかもしれないと思った。	今後の取り組みにあたって、地域の特性を的確に把握し推進していきたいと考えています。
119	女性	20代	静岡は東京や横浜、名古屋などの大都市にも近く、第1次、第2次、第3次産業どれも豊かで、温暖なとてもいい県であると思ってはいたが、短所や問題点について考える機会はなかった。静岡は山間部が多いため、どうしても住む場所が一部に集中してしまう。都市計画区域に9割の市民がいるというのは驚きだった。集中していることはインフラの面とかを考慮すればいいことではあるが、山間部の方も開発して、何かしらの事業などに有効に活用していけたらいいのかなと思った。	ご指摘の山間部の振興については、「将来都市構造」において、「広域基盤、歴史・自然資源の戦略的活用として産業検討拠点」として記載しているところです。
120	女性	20代	静岡は新東名ができて以来、支社がなくなり東京に集中してしまっただけで就職難に陥ってしまっていると感じたことがある。就職難である、若者の人口が減って少子化にもつながる。若者を静岡にとどまらせるためには雇用をつくる必要があると感じた。私は個人的に若い時は土地の値段が安く、広い土地に住みたいと思う。そして車を重ねて、車が運転できなくなったら便利な場所に移り住みたいと思っている。私は静岡は大都市になりすぎる必要はないと思う。都会なことだけが便利ではないと考えるからだ。コンパクトなまちであっても、自分たちの必要なものが周りには生活しやすくていいと思う。	ご意見を踏まえて、望ましい都市構造の実現に努めていきたいと考えています。
121	男性	20代	静岡市は人口が減少しています。これを改善するためには、やはり住みやすい便利なまちづくりを進めていく必要があります。静岡の観光としての長所・短所ももちろん色々あると思いますが、「静岡で暮らす」にあたっての長所・短所について考えてみました。まず長所として挙げられるのは食の豊富さかなと思いました。お茶やみかん、海産物など静岡にはたくさんおいしいものがあります。短所としては、交通の不便さかなと思いました。他の都市を比べると電車もバスも未発達だし、自転車で通るには狭すぎる道路なども問題だなと思いました。最後に、静岡に住むものとしてもっと意見を発信していこうと思いました。	「現状と課題」において、交通の観点からの課題や静岡市の強み等を記載しているところですが、今後の取り組みにあたって参考にさせていただきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
122	女性	20代	私の住んでいる富士市は工業が特に盛んなのでそこで働く人達が集まる事を考慮して居住区と工業区があわさった様な地域で逆に静岡市のような第3次産業をメインにした建物への地域は目立ちません。交通の便はちょっといいという感じですが、人が定着している点ではいいと感じました。静岡市も中心街だけあって人が多く感じましたが、今後、直面する課題でもっと人を呼び込む為の整備をしなくてはならなくて人口の年齢層に対して公共交通機関の充実、観光資源の活用、そして私は住むための地区、日用品を買うための地区、働く空間の3つが必要になってくると感じました。住民たちの多様なニーズに合った中心市街地とその周辺の地域づくりが未来の課題だと思います。	人口、産業、土地利用等の観点からの課題を整理し、各々の解決の方向性を記載しているところですが、具体的取り組みにあたって留意していきます。
123	女性	40代	東静岡副都心地区は、新たな拠点となる地区で静岡・清水都心地区とは異なる魅力とにぎわいのあるまちづくりを推進するとのことですが、現状をみますと、東静岡駅周辺には文化・スポーツ、国際交流などで来静した方たちが滞在するためのホテルが皆無です。東静岡駅を利用する方たちのためにも駅周辺にホテルが建設されると良いと思います。現状は、南幹線南側がホテル建設に良い立地条件にも係わらず工業地帯になっている為、ホテル建設が不可能になっているようで大変もったいないです。また、この辺りは新ICからのアクセスも良いので車で観光に来る人の利用も考えられると思います。	ご指摘の点も踏まえて、「戦略的な取り組みの考え方」の「東静岡副都心地区」において、「高度な都市機能の集積」等を記載しているところですが、具体施設については今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。
124	男性	40代	東静岡副都心地区は、基盤整備されたJR北側と駅周辺に偏っています。南幹線道路の沿道は商業立地が進む一方、道路南側を奥に隔てると工業地域や住居が混在し、都市計画課としては方向性が不明確のように思われます。少なくとも、南幹線沿道30m程度は近隣商業地域にする等し、副都心地区としての街並みや景観の維持に配慮して頂きたい。	本計画は、土地利用等の基本的な方向性を示すものであるため、用途地域の変更等に対する具体的なご提案については、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。
125	男性	60代	集約連携型都市構造を目指し、人口密度のメリハリのある都市を目指す方向は、良いと思います。この都市で、快適に暮らしていくには、移動手段が重要と考えます。静岡市の弱い部分として、バス交通があると思います。名古屋市などでは、電車バス一日乗車券を販売しており、気楽にいろいろなところを訪ねて回れます。また、自転車利用のしやすいまちづくりの推進では、鉄道各駅にレンタサイクルを配置して、長い距離の移動は、電車、バスの利用、短い距離は自転車の利用が出来る都市を望みます。電車バスレンタサイクル1日利用券があれば、自動車に頼らなくても気楽に移動できると思います。交流人口を増やすためにも、わかりやすく、気楽に利用できる移動手段の実現も目指してください。	ご指摘の点も踏まえて、「将来都市構造」における「公共交通軸での移動環境の維持・向上」や、「分野別の基本方針」における「バス交通の充実と利用環境の向上、自転車利用計画の推進」等を記載しています。
126	男性	60代	P60にあるライフスタイルの応じた住み替えのイメージは、すばらしいと思います。今後、ますます空き家が増えてくると思います。年寄り二人が広い家に住み、子育て世代が狭いアパートに暮らしているのが、現状だと思います。ぜひ、イメージの実現を目指し、システムを構築していただきたいと思います。	多様なライフスタイルに対応できる望ましい都市構造の実現に努めていきたいと考えています。
127	男性	40代	集約誘導地区となっているがもっと攻めた案が必要。 ・静岡市人口の50%(約35万人)をJR沿線(安倍川東側～清水駅)南北800mのベルトに収める。 ・上記に付随してJR駅を3駅増やす(駿河区南安倍・駿河区豊原・清水区大坪)・学校を中高一貫にし、(静鉄・JR)鉄道駅から徒歩10分圏内に配置。大学を駅近くに誘致・移転。(自動車の利便性を知らない年代を都市部に取り込む) ・(接続の悪い)静岡駅-新静岡駅の間をペDESTリアンデッキで繋ぐ ・津波浸水の恐れのある三保・清水駅・巴川河口流域付近の開発を止める(特に清水駅周辺の開発は止めるべき)	本計画は、基本方針を示すものであるため、「集約誘導地区」に対する具体的なご提案については、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。
128	女性	20代	住居に特化した地域と観光向けの地域を分けるのはとてもわかりやすいと思いました。集約することで時間的距離の負担を軽減でき、また人々のネットワークもつくりやすくなるかもしれません。また、地域もつの観光的魅力と住居としての魅力は異なるものと考えられるのでアピールする対象を明確にできるとも思いました。しかしながら、市民にたいしてどのように働きかけるかがいまいわからなかったです。市民の協力が不可欠であると思いますが、私の感覚だと移住をする理由としては転勤といったような確固たる理由がないとします。引越しのタイミングをうまく誘導するのはどのようにしたら良いのかと思いました。	望ましい都市構造の実現に努めていきます。住み替え誘導に対する具体的なご提案については、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。

通し番号	性別	年齢	ご意見	市の考え
129	男性	不明	<p>P104・P105にあるまちづくりに向け以下のことを提案します。</p> <p>現在、静岡都心地区方面に向かう道路案内標識は「静岡市街 Centoral Shizuoka」の表示です。一方、清水都心地区方面に向かう道路案内標識は「清水駅 Shimizu Sta.」であり、地域拠点の駅案内「草薙駅 Kusanagi Sta.」などとの違いが分かりません。都心地区にふさわしい様々な誘導を引き起こすことに繋がる道路案内標識に改善していただきたいと思ひます。例えば「清水都心 Central Shimizu」「静岡都心 Central Shizuoka」など。こういうところからも都心の風格、ムードづくりを牽引・醸成してほひいです。管轄部署が異なるのであれば積極的に働きかけてほひいです。「〇〇都心」を行政のペーパー上のものだけでなく、市民が生活の中で使うワードになれば、市民の意識やまちづくりが変わっていくと思ひます。</p> <p>※合併・政令市移行したばかりのときは、「静岡市街 Centoral Shizuoka」という道路案内標識は少なく、「静岡駅 Shizuoka Sta.」などでした。しかし近年では、清水都心地区内でも静岡都心地区方面案内として「静岡市街 Centoral Shizuoka」をよく見かけます。清水都心地区は「静岡市街 Centoral Shizuoka」ではないのでしょうか。(静岡市街とは結局呉服町周辺のこと？役所の所在地を指すのであれば「市役所静岡庁舎」でよいのでは。)これでは都心地区は一つ(静岡都心)といった発想に繋がるのではないか、マスタープランとは異なる方向性を感じます。(仮に静岡都心地区への案内を「静岡市街 Centoral Shizuoka」として残すのであれば、清水都心地区への案内を「清水駅 Shimizu Sta.」から「清水市街 Central Shimizu」にするなどの方法もあるかと思ひます。いずれにせよ、単に駅への案内ではなく、清水にも都心地区があることが分かるような案内になればよいと思ひます。清水区の人口減対策の一つにもなると思ひます。)</p>	<p>ご指摘のように、道路案内標識の改良は重要なテーマであると考えています。標識の管理主体が様々であることなどから、調整が必要となりますが、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。</p>
130	男性	不明	<p>静岡空襲に加えて、清水空襲により清水中心市街地が大きな被害を受け、その後街づくりが行われたことも記述してほしい。</p> <p>→「はじめに」に「まちには人生が溢れている」とありますが、私は清水空襲により親族を失い、清水中心市街地の復興・街づくりに思いを寄せてきました。清水空襲も甚大な被害があったにも関わらず、都市計画の策定にあたり記述がないのは大変残念に思ひました。両中心市街地を大切にしていただけるとありがたいです。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、「静岡市の成り立ち」において、旧清水における空襲被害と戦災復興についても追加しました。</p>
131	男性	20代	<p>住居系市街地についてこの案では4か所にわけてそれぞれに合わせた計画を述べてあったが、「郊外のゆとりある住宅系市街地」については考えなくていいと思ひます。それはこれから人口が減っていく中で郊外を整備すると、費用が増加し、市の人口密度が低くなるデメリットがあるからです。そして私は中心地がにぎわっている都市の方に魅力があり、その土地または周辺に住みたいと感じるので、「中心部の便利な街なか複合地」「主要な公共交通軸沿線の利便性の高い住居系市街地」の2か所に力を入れてほしいと思ひました。</p>	<p>郊外の望ましいあり方を考えることも重要な課題であると考えています。「利便性の高い市街地ゾーン」に対する具体的なご提案については、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。</p>
132	男性	不明	<p>①について 新清水、清水いはら、新静岡の各IC周辺に加えて、清水IC周辺も指定を</p> <p>②について 人口70万維持に向けた静岡市総合戦略「3 しごとを産み出し 雇用を増やす」の各重点事業を後押しすることにも繋がる。例えば、次のエリアを「(仮称)準産業拠点」として格上げの上、点線で囲むなど、思い切った発想・計画が必要ではないか。 例・清水区西部の国1と静清バイパスのあいだのエリア(能島・北脇～鳥坂・楠あたり)</p> <p>・清水区日立町周辺エリア ・新蒲原東側エリア ・国吉田・中吉田エリア</p> <p>③について ①や②で産業エリアが増えると住居地の確保が問題となる。また、とくに清水区は定住人口減が激しいこともあり、清水区での「住居系土地利用の誘導検討地」の新規指定等、住居地の一層の開発や確保を求めたい。</p>	<p>清水IC周辺は、既存のIC周辺として、引き続き、機能の維持を図っていく考えです。産業集積や住宅地形成に関する具体的なご提案については、今後の計画推進にあたっての参考にさせていただきます。</p>